

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準
1 学 期	4	さあ はじめよう	【知技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
			【思判】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
			【主体】積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
	5	ことばの たいそう	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
			【思判】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
			【主体】進んで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。
		はなの みち	【知技】段落の役割について理解している。 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
			【思判】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。
			【主体】興味をもって進んでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。
	6	つぼみ	【知技】・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。
			【思判】・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
			【主体】積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。
		おおきく なった	【知技】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。
			【思判】「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。
			【主体】植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。
	おおきな かぶ	【知技】・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	
		【主体】積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。	
7	すきな こと、なかに	【知技】・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。	
		【思判】・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	
		【主体】粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。	
	おむすび ころりん	【知技】・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	
		【思判】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	
		【主体】進んで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。	
9	ことばの たいそう	【知技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	
		【主体】進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。	
	おはなしを たのしもう	【知技】・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	
		【主体】進んで登場人物の行動を確かめ、学習の見通しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。	
	よんで たしかめよう	【知技】・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	
		【思判】・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	
		【主体】粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。	
	かずと かんじ	【知技】第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。	
		【思判】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。	
		【主体】積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。	
10	おもいうかべながら よもう	【知技】・かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	
		【主体】積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。	
	くわしく かこう	【知技】・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ・助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。	
		【思判】・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ・「書くこと」において、語と語や文と文の続き方に注意しながら書き表している。	
		【主体】知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。	
2 学 期	せつめいする 文しょう をよもう	【知技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	
		【思判】・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	
		【主体】進んで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。	
	せつめいする 文しょう をかこう	【知技】事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	
【思判】「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。			

11	ともだちと はなして、おはなしを かこう	【主体】 分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。	
		【知技】 ・句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。	
		【思判】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。	
	すきなところを見つけよう	【主体】 物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。	
		【知技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	
	日づけと よう日	【主体】 場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。	
		【知技】 ・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	
		【思判】 「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	
	12	てがみを かこう	【主体】 積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。
			【知技】 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。
			【思判】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。
本はともだち	【主体】 書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人に手紙を書こうとしている。		
	【知技】 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		
	【思判】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（		
1	ことばのたいそう	【主体】 積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。	
		【知技】 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	
		【思判】 「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。	
	くらべて よもう	【主体】 進んで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。	
		【知技】 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	
		【思判】 ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	
	ことばって おもしろいな	【主体】 文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。	
		【知技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。	
		【思判】 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	
	3 学 期	ことばあそびをつくろう	【主体】 積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
			【知技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ・長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。
			【思判】 「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
		【主体】 身近なことを表す語句に積極的に関心をもち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。	
		【知技】 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	